



第2回 四日市まちづくり プレゼン大会



目的

- ①NPOが問題意識を基に魅力的な政策提言や事業案にまとめあげ、存在感と提案力の強化を図る。
- ②若い世代がプレゼンを行う場を設け、社会課題に主体的に取り組む市民文化の世代継承を図る。
- ③NPO相互、若い世代とNPOの交流とつながりをつくる。
- ④プレゼンした事業や政策に対して、多様な関係者による市民協働による実現を図る。

タイムスケジュール

13:00	開会 あいさつ
13:10	プレゼン テーション + 審査
16:30	休憩
16:45	交流会
18:00	閉会

審査方法

1. プrezentーション 15分 ※小学生5分程度、高校生10分程度

2. プrezentーションに対するアドバイザーからの意見 +

3. 全体質疑応答

15分

4. 参加者全員の審査 5分

提案内容自体の評価(挙手)

- A: 高く評価(実現したい)
- B: 検討の余地あり
- C: いま一歩

提案に参加(札を上げる)

(活動参加、資金協力、場所の提供など)

○ or X

審査結果に基づく対応

- ① Aが多数の提案の中から、実現可能性が高く社会的意義が大きい提案をアドバイザーと主権者が選定
- ② ○の札を上げた人と提案者とのマッチング
※審査終了後、参加者と提案NPOとの交流会を行う



アドバイザー(順不同)

岩崎恭典

公益財団法人ささえあいまち創造基金代表理事
四日市大学元学長

山下二三夫

四日市市商工会議所専務理事

別府孝文

株式会社三十三総研調査部長

山崎剛

連合三重三泗地域協議会副議長

藤井恵理

ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン代表

加納康樹

四日市市議会議員

加藤康孝

四日市市市民生活部市民協働安全課課長

出場団体・提案内容(発表順)

こどもの部

1. 海蔵学童保育所

みんなでわいわい声を上げ、学童保育所でのすごし方をもっとよくしようと動き出しました。240人の声を集めた結果をお話ししま～す。

5. 格闘技教室スマイルジム

学校や地域とつながり、深刻な課題を抱えるこども・若者を受け入れて仲間と共に育てる、専門性のある居場所の重要性を訴えます。

2. 第一学院高等学校

私たちはふだん人間関係やコミュニケーションが難しいと感じます。なぜそうなのか、どうすれば変えられるのか。議論の結果を発表します。

ポスターセッション

防災一座

三泗地区・四日市の地震被害想定パターンの再設定を提案します。

NPOの部

3. 下野ごちゃまぜ食堂

放課後の居場所不足や孤食・学習のつまずき解消へ、地域・学び・食のワンストップの場づくりから見えてきたものを発表します。

4. 一般社団法人

子育て支援ネットワーク・トゥモローズ

若い世代の声が政治や行政に反映される仕組みをつくり、主体的に地域に関わる機会を設けるため「四日市市Z世代議会」を設置します。

昨年のプレゼン大会の様子、四日市NPO協会の活動の詳細は公式サイトでご覧いただけます。

